

次の固定資産台帳（一部）に基づいて、備品勘定と備品減価償却累計額勘定の（ ）を埋めよ。定額法による減価償却が行われており、月割計算による。当期は×8年度、決算日は3月31日である。

固定資産台帳

備 品		×9年3月31日現在		
取得日	摘要	耐用年数	取得原価	残存価額
×5年4月1日	No.1	6年	100,000	取得原価の10%
×7年12月1日	No.2	8年	360,000	ゼロ
×8年5月1日	No.3	5年	180,000	ゼロ

備 品			
4月1日	前期繰越	()	3月31日 次期繰越 ()
5月1日	普通預金	()	
		()	()
		()	()

備品減価償却累計額			
3月31日	次期繰越	()	4月1日 前期繰越 ()
			3月31日 減価償却費 ()
		()	()
		()	()

【解答】

		備 品			
4月1日	前期繰越	460,000	3月31日	次期繰越	640,000
5月1日	普通預金	180,000			
		<u>640,000</u>			<u>640,000</u>

		備品減価償却累計額			
3月31日	次期繰越	153,000	4月1日	前期繰越	60,000
			3月31日	減価償却費	93,000
		<u>153,000</u>			<u>153,000</u>